

1. LMS 評価表 iroha Board

LMS 名称	iroha Board
開発・ベンダー	株式会社いろはソフト
運用形態	<input type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input checked="" type="checkbox"/> オープンソース・フリー ライセンス GPLv3 <input type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none">- 小規模、シンプルでフラットな構造のため、システムの把握が容易- SCORM 等の対応指定なし- 動作環境は PHP + MySQL + CakePHP
コスト（初期導入費用・運用費用）	初期導入の有償サポート 180,000 円 (内訳は「備考」欄)
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none">・学習機能・テスト実施機能・自動採点／結果表示機能・学習履歴の表示・お知らせの表示 ※受講者向けデモサイト https://irohaboard.irohasoft.jp/intro/
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none">・学習履歴の閲覧 ※管理者向け機能として紹介されている（メンター・講師と管理者の区別がない） ※管理者向けデモサイト https://irohaboard.irohasoft.jp/intro/
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none">・お知らせ管理・ユーザ管理・グループ管理・システム設定
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none">・学習コンテンツの作成・テストの作成・配布資料の登録
情報ソース	<ul style="list-style-type: none">- 株式会社いろはソフト https://irohaboard.irohasoft.jp/

特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 日本国内で開発されているオープンソースの LMS - ユーザ交流等を目的とするコミュニティ等の組織はない - 実行環境 PHP+ MySQL のサーバーの運用を可能とする学内な体制が必要
備考	<ul style="list-style-type: none"> - システム構築の学内ノウハウが充分でない場合には、有償サポートも検討 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 価格 180,000 円 ➤ 内訳（インストール・初期設定、デザインのカスタマイズ、ユーザ情報一括インポート、90 日間初期サポート）

2. LMS 評価表 CANVAS LMS

LMS 名称	CANVAS LMS
開発・ベンダー	アメリカ Instructure 社 (国内) レゾナント・ソリューションズ株式会社 ボウ・ネットシステムズ株式会社
運用形態	■クラウド型 ■イントラネット型
ライセンス	■オープンソース・フリー ライセンス AGPLv3 ■商用 ※有償サポート □その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - リッチコンテンツ・エディタ、カレンダー、オンラインテスト、グループ、課題(レポート提出)、成績管理などの機能を利用した授業支援システムの構築 - ユーザビリティとアーキテクチャが差別化のポイント - Ruby on Rail、MySQL 環境で動作 - SCORM1.2、SCORM 2004 に対応 - Google Docs、Facebook、Twitter といった外部の Web サービスとの連携が可能 - Ruby/Ruby on Rails 製のオープンソース・ソフトウェアとしても提供
コスト(初期導入費用・運用費用)	
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コース別ホームページ ・ナビゲーション ・小テスト
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コース別統計管理 ・コースのステータス管理 ・コース別履歴管理 ・成績管理 ・受講生グループ管理 ・学習成果管理
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション ・協調学習(共同作業支援) ・カレンダー

	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議 ・チャット ・お知らせ ・コース移行ツール(他の LMS から/へのインポート/エクスポートツール)
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・新規コース登録チェックリスト ・リッチコンテンツ・エディタ ・コース設定 ・シラバス管理 ・課題登録 ・小テスト作成
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - Instructure https://www.canvaslms.com/ - レゾナント・ソリューションズ株式会社 http://newresonant.com/modules/pico9/canvaslms001.html - ボウ・ネットシステムズ株式会社 https://www.bownet.co.jp/solutions/e-learning/canvas/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 以下の 3 つ要素で構成 <ul style="list-style-type: none"> ➤ e ラーニング ➤ e ポートフォリオ ➤ ラーニングアナリティクス - 学習者と講師が目標を管理して学習を進める「ルーブリック活用型 e ラーニング」で、そのポイントは以下 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習成果・目標管理、振り返りによる学習効果の最大化 ➤ ルーブリック型 e ポートフォリオによる評価基準の見える化 ➤ 学習履歴・データの蓄積 ➤ ラーニングアナリティクス（学習データ分析）による教育手法の最適化
備考	<ul style="list-style-type: none"> - オープンソース版と有償サポート版 - オープンソース版の場合、学内に動作環境 Ruby on Rail、MySQL サーバーの運用を可能とする学内な体制が必要

3. LMS 評価表 Sakai

LMS 名称	Sakai
開発・ベンダー	Sakai Project
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input checked="" type="checkbox"/> オープンソース・フリー ライセンス Education Community License <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - 実装言語は Java - 動作環境は Tomcat + Oracle/MySQL - レスポンシブによりスマートフォンにも対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 教材配付 - 課題提出 - 試験
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 評定確認 - ディスカッション管理 - 課題管理 - テスト管理 - 成績管理
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - ポートフォリオ - 掲示板 - チャット - wiki - メーリングリスト
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - シラバス管理 - レッスンビルダ
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - Sakai Project https://www.sakailms.org/ - 兼松エレクトロニクス株式会社 http://www.kel.co.jp/solution/S000036.html - Wikipedia https://ja.wikipedia.org/wiki/Sakai_Project

特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - アメリカ、日本の高等教育機関で導入・利用実績あり <ul style="list-style-type: none"> ➤ 法政大学、名古屋大学、MIT、スタンフォード大学、インディアナ大学、ミシガン大学 他 - 日本版 Sakai では、時間割の概念の導入や国内携帯電話 3 社との対応などの機能を追加
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 兼松エレクトロニクス株式会社が、Sakai Commercial Affiliate として日本版 Sakai 導入支援サービスを実施 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 大学のニーズに合わせたカスタマイズ ➤ Sakai システムのスポット構築支援 Sakai 導入、教務システムとのシステム連携の設計・開発、システム基盤の構築 など ➤ 導入後の運用支援 常駐運用支援サービス、リモート支援サービス、システム基盤の構築 ➤ クラウドサービス展開 - オンプレミスでの利用の場合、学内に動作環境 Tomcat + Oracle/MySQL のサーバー運用を可能とする学内な体制が必要

4. LMS 評価表 ILISA

LMS 名称	ILIAS
開発・ベンダー	ケルン大学（ドイツ） ILIAS open source e-Learning e.V.
運用形態	<input type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input checked="" type="checkbox"/> オープンソース・フリー ライセンス GPL <input type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	- SCORM1.2、SCORM2004 4 th 、AICC に対応 - 動作環境は PHP + Oracle/MySQL - 日本語対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	
受講者支援機能	・学習計画や目標管理 ・演習 ・テスト
メンター支援機能	・学習データの収集 ・テスト結果
管理者支援機能	・wiki ・ポートフォリオ ・アンケート ・フォーラム ・チャット ・ユーザグループ
教材作成支援機能	・コース管理 ・演習の作成
情報ソース	- ILIAS THE OPEN Source Learning Management System https://www.ilias.de/ - ILIAS 関連情報 http://katakago.sakura.ne.jp/eL/ilias/index.html - 長岡技術科学大学「はじめての ILIAS」 https://cera-e1.nagaokaut.ac.jp/ilias/goto.php?target=cat_11492&client_id=contents1?target=cat_11492&client_id=contents1

特徴等	<ul style="list-style-type: none">- コンテンツ学習だけでなく、ポートフォリオ機能の他、フォーラムなど学習支援の機能を用意- 日本語に対応しているが、ILIAS に関する国内の情報は豊富とは言い難く、コミュニティや支援組織等も見当たらない
備考	

5. LMS 評価表 Blackboard Learn

LMS 名称	Blackboard Learn
開発・ベンダー	Blackboard アシストマイクロ株式会社 (Blackboard 製品日本総販売代理店)
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - モバイルデバイス対応 - IMS Common Cartridge (LMS とコンテンツのインタフェースに関する IMS 標準)、Basic LTI スタンダード (LMS と学習ツールのインタフェースに関する IMS 標準) に対応
コスト (初期導入費用・運用費用)	個別対応
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出 ・進捗確認 ・グローバルナビゲーション(成績や課題の確認) ・プロフィール機能 ・テスト提出 ・課題提出 ・アンケート
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・アカウントアセスメント(データ分析) ・学習成果の評価 ・レポート分析 ・学生へのフィードバック機能 ・テスト採点 ・課題採点 ・アンケート集計 ・パフォーマンスの追跡
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ機能 ・eポートフォリオ
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コース作成 ・コースコンテンツ作成 ・課題作成

	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト作成
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - Blackboard https://jp.blackboard.com/learning-management-system/blackboard-learn.html
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 技術サービス、導入サービスを提供 - マネージドホスティングサービスを提供
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 導入実績例 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 国立高等専門学校機構 ➤ 富山大学 ➤ 長崎大学 ➤ 拓殖大学 ➤ アメリカンスクールインジャパン など - 導入事例の詳細は、以下にケーススタディとして掲載されている http://www.blackboard.jp/platforms/learn/case-studies/

6. LMS 評価表 TAO

LMS 名称	TAO
開発・ベンダー	株式会社インフォサイン
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 ※オープンソース <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - テスト・ドリルの国際的標準規格である QTI/LTI 完全準拠の Web ベース CBT (Computer Based Testing) プラットフォーム。※QTI 2.1、LTI 1.1.1 - QTI に対応した CBT との相互運用が可能。 - LTI に対応した LMS との連携が可能。 - 動作環境は PHP + MySQL
コスト (初期導入費用・運用費用)	問い合わせ
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の受験 ・定期試験の受験 ・確認小テストの受験
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト配信、実施 ・自動採点/手動採点 ・テスト結果レポート
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・受験者管理
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・問題作成 ・テスト編集
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社インフォサイン http://edu.infosign.co.jp/tao
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - OECD (経済協力開発機構) が実施する PISA (生徒の学習到達度調査)、PIAAC (国際成人力調査) などの調査において、エンジンとして採用されている。 - LTI 準拠のため、Moodle のような LMS とのシームレスな連携が可能。 - 導入支援サービス (TAO 構築技術支援サービス、TAO 導入トレーニング) の提供がある。
備考	

7. LMS 評価表 Moodle

LMS 名称	Moodle
開発・ベンダー	Moodle 日本 Moodle 協会
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input checked="" type="checkbox"/> オープンソース・フリー ライセンス GPLv3 <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 対応 - 動作環境は PHP + MySQL - サードパーティー製のプラグインにより xAPI への対応可能 - ブラウザ以外にもデスクトップクライアント、Android アプリ、iOS アプリがある
コスト（初期導入費用・運用費用）	
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 資料・教材の提示 - 小テストの実施 - 課題の提出と回収 - アンケートの実施 - 投票 - 用語集
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 小テストの受験状況と結果の確認 - 提出物の確認、評価、フィードバック - フォーラム - チャット - Wiki
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - コース管理 - ユーザ管理 - コンテンツ管理
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 教材のアップロード - 小テストの作成 - 課題の作成
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - Moodle（英語） https://moodle.org/ - Moodle（日本語）

	https://moodle.org/course/view.php?id=14 <ul style="list-style-type: none"> - 日本 Moodle 協会 https://moodlejapan.org/ <ul style="list-style-type: none"> - レゾナント・ソリューションズ株式会社 http://newresonant.com/modules/pico2/learning002.html
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 日本国内で Moodle を導入・利用している大学は多い - 有償サポートを提供している企業も多い - レゾナント・ソリューションズでは、Moodle のカスタマイズ、モジュール開発、導入支援、運用のサービスを提供
備考	

8. LMS 評価表 KnowledgeC@fe

LMS 名称	KnowledgeC@fe (ナレッジカフェ)
開発・ベンダー	株式会社富士通ラーニングメディア
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 に対応 (教材コンテンツの内製化支援機能も実装) - モバイル端末に対応 (モバイルラーニングが可能) - ソーシャルラーニング機能を実装 - 研修管理者向けに研修管理の業務フローをシステム化
コスト (初期導入費用・運用費用)	初期導入費用と基本サービス利用料 (基本は年間契約) <ul style="list-style-type: none"> - 初期設定サービス 160,000 円 - 導入支援サービス (ユーザの要望に応じた運用方法での導入) 個別見積り - 基本サービス利用料は登録 ID 数による従量課金制
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の自主的な申込 ・教材コンテンツでの学習 ・ソーシャルラーニング
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況のチェック ・学習申込の承認 ※これらは所属長向けの機能
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・研修管理担当者向けの業務支援機能 ・学習状況の管理 ・学習者へのお知らせ周知 ・データ一括登録/ダウンロード ・様々な研修の一元管理
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザによる教材作成 ・研修結果の確認/添削 ・フォローアップメールの自動送信 ・手軽な操作で動画による教材コンテンツの作成も可能 ・KnowledgeC@fe コンテンツ変換オプション (有償) PowerPoint 資料をブラウザ上でアップロードするだけで音声やアニメーションなどを使った eラーニング教材に変換
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社富士通ラーニングメディア

	https://www.knowledgewing.com/kcc/cafe/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人対象の研修を開発・提供している富士通ラーニングメディアのプラットフォーム - 利用シーンでは、学習者・所属長・教材作成者・研修管理担当者というロールが想定されているように、企業組織での活用をベースにデザインされている（教育機関での利用に不向きという意味ではない） - 教材の内製支援サービスに特徴がある（動画型教材の内製、PowerPoint 資料からの音声・アニメーション型教材の変換）
備考	- クラウド型であるため、学内に運用管理要員が不要

	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズ／テスト (THiNQ)
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - ログソフトウェア株式会社 https://platon.logosware.com/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 管理者向けの学習進捗で搭載されているレポート作成機能では、6種類のレポート形式が用意されている。 - 他の LMS では、モバイルデバイスによる学習進捗確認ができないケースがあるが、Platon はこれをクリアしている - 運営支援機能の1つマルチサイト機能は Platon 1つで他の複数の LMS を稼働させられる機能 - 運営支援機能の1つ集合研修の管理では、ブレンド型研修の管理も可能 (有償オプション)
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 同社は、マイクロラーニングに特化した LOGOSWARE Spotty も開発・販売 - 開発動機について同社は、「一般の LMS は長時間の学習を要する「本格的な学習」には向いているが、組織のルールを憶えたり、商品の新情報を憶えたりするような「日常的な学習」用途としては使いづらいものになっているのでは」「大は小を兼ねない」と説明 - 「日常的な学習」(マイクロラーニング) は必要な時にすぐに配信でき、スキマ時間に簡単に閲覧できるのが大原則という考えのもと、スピーディーな教材配信・閲覧・閲覧状況確認の実現が図られている

10.LMS 評価表 iStudy LMS

LMS 名称	iStudy LMS
開発・ベンダー	アイスタディ株式会社
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 対応 - 動画コンテンツの倍速再生対応 (1 倍速/1.5 倍速/2 倍速) - 実装言語 Java、動作環境 Tomcat + Oracle - IP アドレスによるアクセス制限可能
コスト (初期導入費用・運用費用)	問い合わせ
受講者支援機能	<p>※は受講者・メンター・管理者の区分なく機能説明されているので、以下の区分は引用者による。 詳細は下記 URL 参照。 https://www.istudy.co.jp/products/lms/function</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理 ・研修履歴管理 ・テスト ・アンケート ・Web セミナー ・オンデマンド研修 ・対話型遠隔研修
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト結果集計 ・アンケート作成/集計
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・研修管理 (研修受講・参加者管理) ・スキル管理 (スキル診断) ・経験管理 (コンピテンシー、業務スキル、資格登録)
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツエディタ オンデマンド型コンテンツ制作の専用ツール ・iStudy Creator NX PowerPoint、Word、Excel で作成したファイルを簡単な操作でコ

	<p>コンテンツに変換するオーサリングツール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーのライブ配信 <p>映像音声とホワイトボードを使いながらリアルタイム配信 チャット、アンケートによる双方向のやり取りも可能</p>
情報ソース	<p>アイスタディ株式会社</p> <p>https://www.istudy.co.jp/products/lms</p> <p>https://www.istudy.co.jp/products/training</p>
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - ビジネス、ヒューマンスキル、IT の資格取得・スキルアップなど 200 タイトルを超える豊富な教材ラインナップがある。 - オンプレミスでの運用だけでなく、「iStudy LMS プラットフォームサービス」「ホスティングサービス iStudy LMS Cloud」が用意されている。
備考	<p>7 日間の無料トライアルサービス (iStudy Cloud) が用意されている。下記 URL から申し込みができる。</p> <p>https://www.istudy.co.jp/products/training/trial</p>

特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 反転授業、アクティブラーニングへの対応。 - モバイルラーニングへの対応。 - 本人確認機能。
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 利用実績 株式会社東洋経済新報社 成蹊大学 株式会社プレミアムウォーターホールディングス - 詳しくは下記 URL に掲載されている。 https://pro.cyber-u.ac.jp/case/

12.LMS 評価表 KnowlwdgeDeliver

LMS 名称	KnowlwdgeDeliver
開発・ベンダー	株式会社デジタル・ナレッジ
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 ※パブリッククラウド等、多様な形態あり <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 対応 - xAPI 対応 - マルチデバイス対応 - 動作環境 Windows Server + SQL Server (Microsoft.Net Framework 3.5 SP1)
コスト（初期導入費用・運用費用）	100 ユーザライセンス 500,000 円から 詳細は以下に価格表あり。 https://www.digital-knowledge.co.jp/product/kd/
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・教材学習 ・質問 ・テスト受験／分析結果の確認 ・レポート提出 ・アンケート回答 ・修了証の表示
メンター支援機能	※管理者向け機能と一体的に説明されている。
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の登録、教材の割当 ・学習状況の管理 ・指導が必要なイベントの表示 ・アンケート集計 ・質問への回答
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・教材作成 ※以下のタイプ（型）の教材作成が可能。 PowerPoint 教材、映像教材、PDF 教材、 フォルダアップロード型、映像参照型、Web ページ参照型、 テキスト型テスト、PowerPoint 型テスト、 アンケート／レポート ・テスト作成

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の設計 ・ 前提条件の設定
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社デジタル・ナレッジ https://www.digital-knowledge.co.jp/product/kd/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 教材作成～学習～運用管理まで一元的にサポートする LMS。 - e ラーニングの国際標準規格に準拠（SCORM、xAPI）。 - デジタル・ナレッジの LRS「KnowledgeRecorder」以外の LRS と相互運用性を確保。 - 豊富な導入実績あり（1,500 社以上）。 - 導入形態は ASP、オンプレミス、DK クラウド、パブリッククラウドなど多様。
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 導入事例として、学校法人西野学園（北海道札幌市）の看護通信課程での利用が紹介されている。 https://www.digital-knowledge.co.jp/product/kd/

13.LMS 評価表 AirCourse

LMS 名称	AirCourse						
開発・ベンダー	KIYO ラーニング株式会社						
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input type="checkbox"/> イントラネット型						
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []						
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - 動画型 e ラーニングに特化したサービス。 - マルチデバイス対応。 						
コスト（初期導入費用・運用費用）	<ul style="list-style-type: none"> - 3つのプラン <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">フリー (お試し)</td> <td style="padding: 5px;">料金 0 円 お試し用コース(コンテンツ)受講</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ベーシック (LMS のみ)</td> <td style="padding: 5px;">月額 (年契約) 360 (300) 円/月</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">コンテンツプラス (LMS+標準コンテンツ)</td> <td style="padding: 5px;">月額 (年契約) 600 (500) 円/月</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> - 標準コンテンツ 社員教育に必要な教育メニューが標準コンテンツとして搭載されている (約 60 コース)。 コンテンツプラスでは、これらすべてが受講可能 	フリー (お試し)	料金 0 円 お試し用コース(コンテンツ)受講	ベーシック (LMS のみ)	月額 (年契約) 360 (300) 円/月	コンテンツプラス (LMS+標準コンテンツ)	月額 (年契約) 600 (500) 円/月
フリー (お試し)	料金 0 円 お試し用コース(コンテンツ)受講						
ベーシック (LMS のみ)	月額 (年契約) 360 (300) 円/月						
コンテンツプラス (LMS+標準コンテンツ)	月額 (年契約) 600 (500) 円/月						
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・動画 e ラーニングの視聴 ・テストの受験 ・アンケートへの回答 						
メンター支援機能							
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・登録、設定 ユーザ登録、グループ登録、権限設定、マネージャー設定 ・受講管理 ユーザ別レポート (学習進捗、テスト結果等) コース別レポート (学習進捗、テスト結果等) ・コミュニケーション 管理者からのメッセージ配信・メール配信 						
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コース作成 動画対応、スライド対応 (PPT、PDF)、資料添付/ダウンロード 						

	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト作成（選択式／○×式） ・アンケート作成
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - KIYO ラーニング株式会社 https://aircourse.com/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 動画 e ラーニングに特化した LMS サービス。 - 60 コースの標準コンテンツの受講も可能。 - 簡単な申請手続きで製品資料のダウンロードができる。 - フリーの料金プランが用意されている。
備考	

14.LMS 評価表 学び〜と

LMS 名称	学び〜と
開発・ベンダー	エスエイティーティー株式会社
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 対応 - モバイルデバイス対応 - 多言語対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	<ul style="list-style-type: none"> - 初期導入費は無料 - 登録ユーザ数別の月額 5人 無料 50人 15,000円 200人 50,000円 500人 100,000円 <p>詳しくは下記 URL に掲載されている。 http://www.manabeat.com/plan/index.html</p>
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - マイページ - 学習教材一覧 - サポート - 掲示板 - 個人情報変更
メンター支援機能	※管理者向け機能として一括で説明されている。
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - ダッシュボード - ユーザ管理 - 教材管理 - 修了証の管理 - 割り当て（科目とグループ・属性・ユーザ） - レポート - 通知メール（有料オプション） - サポート対応 - ライブラリ

	<ul style="list-style-type: none"> - サイト管理 - 契約確認 - 掲示板
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 科目設定 - 教材作成 - 教材作成ツール（有料）がある。 ビデオ+プレゼン教材作成ツール「smart PREO」 テスト・クイズ問題作成ツール「smart QUTE」 スライド講義型教材作成ツール「smart TLEC」 下記 URL でこれら教材作成ツールのデモが確認できる。 https://satt.jp/product/smart-preo3.htm https://satt.jp/product/smart-qute3.htm https://satt.jp/product/smart-tlec3.htm
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - エスエイティーティー株式会社 http://www.manabeat.com/index.html https://satt.jp/product/manabeat.htm
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 駿台グループの e ラーニング開発企業 S A T T によるプラットフォームサービス。
備考	

LMS 評価表 LMS365 Cloud

LMS 名称	LMS365 Cloud
開発・ベンダー	株式会社ソフィア
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 ※Microsoft SharePoint Online へのアドオン <input type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - Microsoft SharePoint Online 上で動作する LMS - Office365 が必要 - SCORM・AICC 対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	<ul style="list-style-type: none"> - 初期費用は不要 - 年間ライセンス（1年単位、複数年あり）
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - 学習状況の把握（パーソナライズされたポータル画面） - スマートフォンアプリによるモバイルラーニング
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - ダッシュボードによる進捗確認 - Microsoft Office のドキュメントからの教材作成 - クイズ機能によるクイズ作成 - 学習コース作成 - 学習状況レポートの出力 - 課題への取り組み状況確認・評価 - 学習者とのコミュニケーション
管理者支援機能	-
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> - ラーニングモジュール機能による教材作成 PowerPoint、Excel、Word、PDF、動画・画像ファイル、音声ファイル、Office ビデオや YouTube 動画 上記を使用しないオリジナル教材の作成 下記 URL にラーニングモジュールのデモが掲載されている。 https://lms365.jp/function/learningmodule/
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社ソフィア https://lms365.jp/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - Microsoft SharePoint Online のアドオンであるため、新たなサーバーの導入・設定等が不要。
備考	

15.LMS 評価表 Learning Ware

LMS 名称	Learning Ware																								
開発・ベンダー	株式会社プロシーズ																								
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 ※SaaS <input type="checkbox"/> イントラネット型																								
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []																								
技術特性	- SCORM1.2 対応																								
コスト（初期導入費用・運用費用）	<p>ユーザ数プラン、同時アクセス数プランの2種類の料金体系からなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ユーザ数プラン <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>初期費用</td><td>210,000 円</td><td></td></tr> <tr><td>1~50 ユーザ</td><td>30,000 円/月</td><td></td></tr> <tr><td>51~150 ユーザ</td><td>48,000 円/月</td><td></td></tr> <tr><td>151~250 ユーザ</td><td>60,000 円/月</td><td>など</td></tr> </table> - 同時アクセス数プラン <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>初期費用</td><td>210,000 円</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>96,000 円/月</td><td></td></tr> <tr><td>50</td><td>132,000 円/月</td><td></td></tr> <tr><td>100</td><td>204,000 円/月</td><td>など</td></tr> </table> <p>※上記以外の中間プランあり 料金体系情報は下記 URL 参照 https://www.pro-seeds.com/lms/price-plan/rental-plan.html</p>	初期費用	210,000 円		1~50 ユーザ	30,000 円/月		51~150 ユーザ	48,000 円/月		151~250 ユーザ	60,000 円/月	など	初期費用	210,000 円		25	96,000 円/月		50	132,000 円/月		100	204,000 円/月	など
初期費用	210,000 円																								
1~50 ユーザ	30,000 円/月																								
51~150 ユーザ	48,000 円/月																								
151~250 ユーザ	60,000 円/月	など																							
初期費用	210,000 円																								
25	96,000 円/月																								
50	132,000 円/月																								
100	204,000 円/月	など																							
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブレッスン ・講義動画（ビデオ・オン・デマンド） ・レポート作成、提出 ・日記 ・掲示板 ・コミュニティ ・メッセージ ・チャット 																								
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習管理 <p>講座進捗、テスト結果、アンケート結果、レポートの評価・管理、ログイン状況、</p>																								

	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ログ出力
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザ管理 ・連絡管理（アナウンス、お知らせ、スケジュール等） ・業務・スケジュール管理（勤怠履歴、報告（日報等）の一覧、個人スケジュール一覧等） ・個人データ一括登録 ・教材データ一括登録 ・各種ログ出力 ・コミュニティ管理
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・講座管理 講義、テスト、アンケート、レポート
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社プロシーズ https://www.pro-seeds.com/lms/function/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 に対応している。 - 集合研修の管理にも対応している。 - ライブレッスンとVODに対応している。 - クレジット決済機能が組み込まれており、有償講座を効率的に提供できる。 - プロシーズ社のeラーニング講座を組み込むことができる（オプション）。
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 多数の利用実績がある。 - 教育・学習関連では、EIKOH VIETNAM（栄光ゼミナールが運営するベトナムの日本語学習センター）、Manabox（現地にてベトナム人経理スタッフの研修サービスを提供する企業）など。 <p>個別事例の詳細は下記 URL 参照</p> <p>https://www.pro-seeds.com/result/</p>

16.LMS 評価表 eラーニングマネージャーZ

LMS 名称	eラーニングマネージャーZ (eLMS)
開発・ベンダー	株式会社ジンジャーアップ
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input checked="" type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM 対応 - xAPI 対応 - 多言語対応 - スマートフォン対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	<p>料金体系は ASP 版・オンプレミス版・クラウド版の 3 つからなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ASP 版 <ul style="list-style-type: none"> 基本月額使用料 0 円/月 保守料 10,000 円/月 SMTP サーバー使用料 100 円/人/月 - オンプレミス版 <ul style="list-style-type: none"> 無制限ライセンス料（一式） 6,000,000 円 年間サポートパック（1 年） 1,200,000 円/年 - クラウド版 <ul style="list-style-type: none"> 1,000 名まで <ul style="list-style-type: none"> ライセンス（初回のみ） 1,000,000 円 設置費用 なし 利用年間費用（サポートパック含む） 960,000 円 30,001 名まで <ul style="list-style-type: none"> ライセンス（初回のみ） 6,000,000 円 設置費用 200,000 円 利用年間費用（サポートパック含む） 9,600,000 円 <p>※上記以外の中間プランあり 料金体系情報は下記 URL 参照 http://www.gingerapp.co.jp/elearningmanagerz/pricelist/</p>
受講者支援機能	
メンター支援機能	・テスト作成、集計

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート作成、集計 ・学習履歴管理 ・自動メール送信
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ管理 ・管理者権限の設定 ・集合研修管理
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト作成 ・アンケート作成 ・教材のライブラリ化
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社ジンジャーアップ http://www.gingerapp.co.jp/elearningmanagerz/
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - ASP 版では基本月額利用料が 0 円の設定。 - SCORM、xAPI という国際規格に準拠している。 - 教材をライブラリ化し、多くの受講者に対して広く公開するしくみを備えている。
備考	<ul style="list-style-type: none"> - 豊富な導入実績がある（公開されている）。 - 官公庁では、経済産業省、外務省、海上自衛隊（第 1 術科学学校他）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、産業技術総合研究所（AIST）など。 - 教育機関では、東京大学、慶応義塾大学、東京農工大学、岐阜大学、島根大学、中日本自動車短期大学、株式会社グロービス。 - その他、一般企業多数。 <p>導入実績の詳細は下記 URL 参照 http://www.gingerapp.co.jp/case/</p>

17.LMS 評価表 Curatr

LMS 名称	Curatr (キュレータ)
開発・ベンダー	HT2Labs 株式会社インフォサイン (日本代理店)
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - ソーシャルラーニングのために開発された協働学習プラットフォーム。 - ディスカッションを行い、そこでの関与度や貢献を可視化するしくみを備える。 - 国際規格 xAPI 対応。
コスト (初期導入費用・運用費用)	問い合わせ
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・コース選択 ・ソーシャル学習 (教材学習×ディスカッション) ・課題作成、提出
メンター支援機能	<p>※講師・管理者向け機能は区分なく説明されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題確認、評価 ・進捗ダッシュボード
管理者支援機能	
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマ設定 ・課題設定 ・コース作成
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社インフォサイン http://edu.infosign.co.jp/curatr
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - キーワード1: ソーシャル (Social) 協働的な学び、能動的な学びの環境を提供 - キーワード2: キュレーション (Curation) 既存コンテンツを集めて (キュレート) すばやくコース作成 - キーワード3: ゲーミフィケーション (Gamification) 教材の達成レベルごとに XP (経験ポイント) 付与 学びのモチベーションを維持

	<ul style="list-style-type: none"> - キーワード 4：アナリティクス (Analytics) ソーシャル度を指標とする達成状況の見える化 コース修了後はスキル証明バッジ等が授与される。 - ソーシャル度という指標 (補足) 成績と貢献の質は以下の式で求める ○成績：進捗度×エンゲージメント (関与度) ○貢献の質：量 (発言数) × 質 (いいね数)
備考	<ul style="list-style-type: none"> - Curatr を活用した大学・教育機関でのソーシャルな学びのシーンとして以下を例示している。 アクティブラーニングでの活用 反転授業での活用 ブレンディッドラーニングでの活用 - xAPI 対応の LRS (Learning Record Score) である Learning Locker と連携

	https://www.lightworks.co.jp/services/careership/functions
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - 数千人、数万人規模の大企業向け LMS。 - 詳細な組織管理機能など、複雑で大規模な運用をサポートする機能を有している。
備考	<ul style="list-style-type: none"> - その他の機能として以下を備えている（オプション） データ連携 API 動画ストリーミング配信 1on1 セッション AI/BI サービス

19.LMS 評価表 Adobe Captivate Prime LMS

LMS 名称	Adobe Captivate Prime LMS
開発・ベンダー	アドビシステムズ株式会社
運用形態	■クラウド型 □イントラネット型
ライセンス	□オープンソース・フリー ■商用 □その他 []
技術特性	- xAPI に対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	学習者一人あたり月額 4\$ 30 日間の無料トライアルサービスがある。
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none">・学習状況の確認・スキルの確認・カレンダー・おすすめの学習・達成状況・ディスカッション
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none">・レポート集計・チームの管理・ディスカッション
管理者支援機能	<ul style="list-style-type: none">・他の LMS からのデータコンバート
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none">・ Adobe Captivate（別売り）を使用した教材作成
情報ソース	- Adobe https://www.adobe.com/jp/products/captivateprime.html
特徴等	<ul style="list-style-type: none">- Slack に対応している。- PowerBI との接続に対応している。- Adobe が運営する Adobe Captivate Prime LMS ユーザ同士のフォーラムや製品ポータルがある。
備考	

20.LMS 評価表 Oracle Learn Cloud Service

LMS 名称	Oracle Learn Cloud Service
開発・ベンダー	Oracle
運用形態	<input checked="" type="checkbox"/> クラウド型 <input type="checkbox"/> イントラネット型
ライセンス	<input type="checkbox"/> オープンソース・フリー <input checked="" type="checkbox"/> 商用 <input type="checkbox"/> その他 []
技術特性	<ul style="list-style-type: none"> - SCORM1.2 対応 - モバイルデバイス対応
コスト（初期導入費用・運用費用）	問い合わせ
受講者支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナライズされた学習センター ・ バーチャルクラスルーム ・ オンライン調査の回答 ・ フォーラム
メンター支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン調査の集計 ・ フォーラム
管理者支援機能	
教材作成支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ WYSIWYG 形式のエディタによる教材開発 ・ オンライン調査の作成
情報ソース	<ul style="list-style-type: none"> - Oracle https://cloud.oracle.com/opc/saas/tm/datasheets/oracle-hcm-learn-cloud-datasheet-ja.pdf
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> - クラウド型のみの提供 - SCORM1.2、AICC 準拠
備考	

21.LRS 評価表 TANSU

名称	TANSU				
開発者・提供者	株式会社ジンジャーアップ				
URL	https://xapi.co.jp/tansu/				
種別	商用				
導入形態	・ ASP				
費用	<p>・ ASP 版</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラン</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベーシックプラン</td> <td>2,980 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 万ステートメント/月(1 ステートメント=1KB) LRS は 5 つ生成 バックアップはなし カスタマイズプランも可能</p>	プラン	料金	ベーシックプラン	2,980 円
プラン	料金				
ベーシックプラン	2,980 円				
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ Moodle 連携用の API アダプタを提供する。 ・ CSV/JSON 形式でのデータエクスポートが可能 ・ 1 契約で複数の LRS を設定可能 				
利用実績					
利用・運用時の負荷	・ ASP 形式での提供のみのため、サーバーなどに詳しい担当者は不要である。				
備考					

22.LRS 評価表 Learning Locker

名称	Learning Locker
開発者・提供者	HT2Labs、株式会社インフォサイン(日本代理店)
URL	https://www.ht2labs.com/learning-locker/ http://edu.infosign.co.jp/learninglocker
種別	・オープンソース
導入形態	・オンプレミス ・クラウド
費用	お問い合わせ
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ xAPI に完全準拠した LRS エンジン ・ xAPI に対応した LMS(ex. Moodle+xAPI 対応プラグイン)と連携可能 ・ 学習ログ(アクティビティデータ)を xAPI 標準形式で蓄積・管理する。 ・ LRS なので、LMS や CBT、ウェブサイトや動画教材、SNS、モバイルラーニング、シミュレーションなど様々な学習環境からの横断的な学習記録データを収集し、一元的に把握できる。 ・ 学習データのグラフ化機能がある。
利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ Jisc(Joint Information Systems Committee) ・ City & Guilds TechBac
利用・運用時の負荷	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度の規模になると xAPI のアクティビティは 1 日で百万件にも達するので、実運用はオンプレミスでおこなうのは難しい。データベースも RDBMS ではなく NoSQL の運用ノウハウを要する。
備考	・ 非公式なものだが有志による Docker イメージも存在する

23.LRS 評価表 Rustici LRS

名称	Rustici LRS
開発者・提供者	Rustici Software
URL	https://rusticisoftware.com/products/rustici-lrs/
種別	商用
導入形態	・クラウド
費用	SCORM Cloud の一部として無料で利用できる。
特徴	<ul style="list-style-type: none">・xAPI のバージョンアップをキャッチアップしていく。・xAPI ステートメントにフィルタリングが可能。・受け取ったステートメントに応じたトリガーを発行できる。・他の LRS へステートメントを転送できる。
利用実績	
利用・運用時の負荷	・クラウド環境での提供のみのため、サーバーなどに詳しい担当者は不要である。
備考	

24.LRS 評価表 ADL LRS

名称	ADL LRS
開発者・提供者	ADL
URL	https://lrs.adlnet.gov/
種別	・オープンソース
導入形態	・クラウド
費用	
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ ADL による公式実装・ データが公開されてしまうので、技術開発やテストとして利用するもの・ Statement Viewer・ Statement Validator。ブラウザ上でステートメントのバリデーションをおこなうことができる。
利用実績	
利用・運用時の負荷	・ 開発者用の LRS 参照実装なので、詳しくない担当者が使用することはない。
備考	